

遺愛女子高等学校

○本校の概要

本校の創立は米国メソジスト・エピスコパル協会婦人伝道協会によります。1874(明治7)年1月26日、M.C.ハリス夫妻が函館に到着し、翌日から『Day school』(日々学校)を始め、遺愛学院のもととなりました。今年で創基145年目となります。その後、カロライン・ライト夫人の献金によって1882年2月1日に文部省認可の女学校として開校しました。以来数度の学制改革はありましたが、一貫してキリスト教主義による女子教育を行い、今日に至るまで25,304名の卒業生(旧制+新制中学・高校)を出しています。

近年では重要文化財である本館や旧宣教師館が注目され、多くの映画やテレビドラマ、CM等の舞台としても利用されています。



○本校PTAの事業計画と活動状況



中高計830名の生徒たちの健やかな成長のためにさまざまな活動を行っています。

夏には学校祭に食堂を出店し、行事を一段と盛り上げています。また年に一度懇親会を行い、交流を深めています。さらには各種の文化的行事を行っています。年間3回にわたっての「聖書に親しむ会」、函館の歴史的建造物等の見学会などです。2018年度には宣教師館を会場として函館在住のチェンバロ奏者・森洋子氏によるチェンバロコンサート、今年度は東京の鷗友学園女子中学高等学校名誉校長の吉野明先生をお招きしての、女子の自己肯定感を高める育て方講演会を実施いたしました。

遺愛はミッションスクールの女子校です。PTAでもクリスマスを祝う会を実施しています。また、2月初めには校舎内のホールにお雛様の飾りつけをしています。その他にも多くの活動を行い、大変充実した内容となっております。



去る2016年には、高P連全道大会の事務局を担当させていただくとともに、会場校として全道の多くの皆様が来校してくださいました。その節お世話になった皆様に心より感謝申し上げます。